
Alpiarça

について

アルピアルサ

アルピアルサ（Alpiarça）はリバテージョ（Ribatejo）の広大な沖積平野に位置しています。この地方は、馬の飼育と闘牛が、土地の伝統として非常に深く根付いているところです。穏やかなこのアルピアルサの町には、先史時代の人の居住跡が今も残されています。町の郊外にあるメイジャオン（Meijão）やカベッソ・ダ・ブルシャ（Cabeço da Bruxa）（「魔女の頭」の意）のネクロポリスはその例です。

町の見どころの1つとして、パトゥドス博物館（Casa-Museu dos Patudos）が挙げられます。ここはかつて19、20世紀ポルトガルの外交官・政治家であったジョゼ・レルヴァス（José Relvas）の邸宅だったところで、その中では数々の絵画の傑作をはじめ、すばらしい陶磁器、ブロンズ彫刻、家具、タペストリーを見ることができます。